

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和1年10月10日(2019.10.10)

【公開番号】特開2018-37807(P2018-37807A)

【公開日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【年通号数】公開・登録公報2018-009

【出願番号】特願2016-168549(P2016-168549)

【国際特許分類】

H 04 N	5/225	(2006.01)
G 03 B	15/00	(2006.01)
G 03 B	5/00	(2006.01)
G 03 B	17/18	(2006.01)
G 03 B	17/20	(2006.01)

【F I】

H 04 N	5/225	A
G 03 B	15/00	Q
G 03 B	5/00	J
G 03 B	17/18	Z
G 03 B	17/20	

【手続補正書】

【提出日】令和1年8月22日(2019.8.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮像手段と、

マニュアルフォーカスモード(MFモード)を含む複数のフォーカスモードのうちのいずれかを設定する設定手段と、

流し撮りの補助機能の有効／無効を切り替える切替手段と、

前記MFモードが設定されており、かつ、前記補助機能が有効である場合、前記撮像手段で撮像されたライブビュー画像中の所定の位置を示す第1の位置情報を前記ライブビュー画像に重畳して表示するように制御し、

前記MFモードが設定されており、かつ、前記補助機能が無効である場合、前記第1の位置情報を表示しないように制御する

表示制御手段と、

を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記撮像手段で連続的に撮像された複数の画像に基づいて、前記所定の位置における被写体の動きを検出する検出手段と、

前記検出された動きを打ち消すように、前記撮像手段へ光を導く光学系の光軸と前記撮像手段との位置関係を制御する制御手段と、

を更に備えることを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項3】

前記制御手段は、前記光学系に含まれるレンズを移動させることにより、前記位置関係を制御する

ことを特徴とする請求項 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記複数のフォーカスモードは、オートフォーカスモード（AF モード）を含み、

前記 AF モードが設定されており、かつ、前記補助機能が有効である場合、

前記表示制御手段は、AF の対象領域を示す第 2 の位置情報を前記ライブビュー画像に重畳して表示するように制御し、

前記検出手段は、前記 AF の対象領域における被写体の動きを検出することを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記第 1 の位置情報の外観と前記第 2 の位置情報の外観とは異なる

ことを特徴とする請求項 4 に記載の撮像装置。

【請求項 6】

前記第 1 の位置情報は、前記ライブビュー画像中の所定の領域の位置を示す情報であり、前記撮像装置は、ユーザ指示に従って前記所定の領域の位置及び大きさの少なくとも一方を変更する変更手段

を更に備えることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 7】

前記表示制御手段は、前記補助機能が有効に切り替えられたことに応じて、前記ライブビュー画像の表示を開始するように制御する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 8】

前記ライブビュー画像を表示するか非表示とするかを切り替え可能であり

前記ライブビュー画像が非表示であり、かつ、前記 MF モードに設定されており、かつ、前記補助機能が有効である場合、前記表示制御手段は、前記所定の位置を示す第 3 の位置情報をファインダ内表示手段に表示するように制御し、

前記ライブビュー画像が非表示であり、かつ、前記 MF モードに設定されており、かつ、前記補助機能が無効である場合、前記表示制御手段は、前記第 3 の位置情報を表示しないように制御する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 9】

撮像手段を備える撮像装置が実行する制御方法であって、

マニュアルフォーカスモード（MF モード）を含む複数のフォーカスモードのうちのいずれかを設定する設定工程と、

流し撮りの補助機能の有効 / 無効を切り替える切替工程と、

前記 MF モードが設定されており、かつ、前記補助機能が有効である場合、前記撮像手段で撮像されたライブビュー画像中の所定の位置を示す第 1 の位置情報を前記ライブビュー画像に重畳して表示するように制御し、

前記 MF モードが設定されており、かつ、前記補助機能が無効である場合、前記第 1 の位置情報を表示しないように制御する

表示制御工程と、

を有することを特徴とする制御方法。

【請求項 10】

コンピュータを、請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の撮像装置の撮像手段を除く各手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 11】

コンピュータを、請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の撮像装置の撮像手段を除く各手段として機能させるためのプログラムを記録したコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記課題を解決するために、本発明は、撮像手段と、マニュアルフォーカスモード（MFモード）を含む複数のフォーカスモードのうちのいずれかを設定する設定手段と、流し撮りの補助機能の有効／無効を切り替える切替手段と、前記MFモードが設定されており、かつ、前記補助機能が有効である場合、前記撮像手段で撮像されたライブビュー画像中の所定の位置を示す第1の位置情報を前記ライブビュー画像に重畠して表示するように制御し、前記MFモードが設定されており、かつ、前記補助機能が無効である場合、前記第1の位置情報を表示しないように制御する表示制御手段と、を有することを特徴とする撮像装置を提供する。